令和　2　年度　事後評価・決算　　**事務事業マネジメントシート**　　総合　　令和3年10月　作成

事業番号	事務事業名		泉公民館臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和　2　年度課長名	黒瀬　豊
06271	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	生涯学習係	担当者・シート作成者	岩谷　理恵子
	施策名	32	生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
□ 単年度繰返し ☑ 期間限定複数年度 （令和2 年度～ 令和3 年度） □ 単年度のみ	新築工事に係る公告及び設計委託	昭和53年度に完成した泉公民館も築40年を超え、修繕が多数必要となってきた。それに加え、耐震診断では耐震の脆弱性も指摘があり、このことから利用地域住民の不便さの解消、安全性確保のため新築を計画することとなったため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア	地区住民	→	ア	地区住民人口	人	見込			420	400	
						実績			403		
イ		→	イ			見込					
						実績					
ウ		→	ウ			見込					
						実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア	生涯学習に参加できる場所を提供する	→	ア	自主講座団体数	団体	目標			11	17	
						実績			15		
						達成率			136.4%		#DIV/0!
イ	快適な施設利用をしてもらう	→	イ	自主講座利用者数	人	目標			2,000	1,200	
						実績			1,096		
						達成率			54.8%		#DIV/0!
ウ		→	ウ	主催講座利用者数	人	目標			2,000	2,300	
						実績			2,206		
						達成率			110.3%		#DIV/0!

③主な活動内容			⑥活動指標		単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア	設計委託	→	ア	委託数	件	目標			1	1	
						実績			1		
						達成率			100.0%		#DIV/0!
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					
ウ		→	ウ			目標					
						実績					
						達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	10	項	06	目	02	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		01	32	泉公民館臨時管理費	06271

予算（千円）	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算（千円）	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財				157,000			その他特財				157,000		
一般財源			13,347	8,305		13,347	一般財源			11,926	8,305		11,926
合計	0	0	13,347	165,305	0	13,347	合計(A)	0	0	11,926	165,305	0	11,926

財源名称				30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	前年比
			従事正職員人数			1	1		1
			延べ業務事務時間			400	400		400
			人件費計(千円)(B)	0	0	1,337	1,340	0	1,337
最終予算額	13,347 千円	予算執行率 89.3%	トータルコスト(A+B)			13,263	166,645		13,263

主な支出事業内容（予算）			主な支出事業内容（決算）		
	役務費（広告料）	168 千円		役務費（広告料）	167 千円
	委託料	13,179 千円		委託料	11,759 千円

事業番号	06271	事務事業名	泉公民館臨時管理費	所管課名	生涯学習課

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
昭和53年度に完成した泉公民館も築40年を超え、修繕が多数必要となってきた。それに加え、耐震診断では耐震の脆弱性も指摘があり、このことから利用地域住民の不便さの解消、安全性確保のため新築を計画することとなった
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
地区内関係者との意見交換を行い、新築のアウトライン設定や説明を行った上で設計業務を行うこととした。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか？
公民館機能の充実はもちろん地域団体の利用しやすい公民館としての整備が求められている。

5. 事業評価

区分	評価		理由説明
目的妥当性評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか？意図することが結果に結びついているか？)		
	☐ 見直し余地がある ☑ 結びついている	理由説明	地区公民館を整備するもので施策体系と結びついている。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか？税金を投入して行うべき事業か？住民や地域民間等に任せることはできないか？)		
	☐ 見直し余地がある ☑ 妥当である	理由説明	町有施設の建て替え事業であるため、町が実施する必要がある。
	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか？)		
	☐ 見直し余地がある ☑ 適切である	理由説明	既存施設の建て替えであり、地域住民活動・生涯学習活動の促進に資するものである。
有効性評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか？成果を向上させる有効な手段はないか？何が原因で成果が向上しないのか？)		
	☐ 向上余地がある ☑ 目標水準に達している	理由説明	事業を実施することで従来の住民活動や生涯学習活動のレベルを維持できると予想される。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は？目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？)		
	☐ 影響がない ☑ 影響がある	理由説明	耐震の脆弱性の指摘のある施設を使用し続けることは考えられず、地域の活動や生涯学習の推進に大きな影響がある。
	⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか？)		
	☐ 改善余地がある ☑ 改善余地がない	理由説明	既存施設の建て替えであり、地域住民活動・生涯学習活動の促進に資するものであり改善余地はない。
効率性評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか？)		
	☐ 削減余地がある ☑ 削減余地がない	理由説明	設計上、既存施設よりも規模を縮小しており耐震化を図る必要もあるため事業費の削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか？)		
	☐ 削減余地がある ☑ 削減余地がない	理由説明	現地の調査や設計を業務委託することで業務時間の短縮を図っている。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか？受益者負担は公平・公正となっているか？)		
	☐ 見直し余地がある ☑ 公平・公正である	理由説明	地区住民は言うまでもなく、奥津地域の中心的役割を果たす施設であるため公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果			②全体総括(振り返り・成果・反省点)・ 評価結果の根拠
A 目的妥当性	☑ 適切	☐ 見直しの余地あり	地区関係者と意見交換を行い、それを考慮した設計委託となった。
B 有効性	☑ 適切	☐ 見直しの余地あり	
C 効率性	☑ 適切	☐ 見直しの余地あり	
D 公平性	☑ 適切	☐ 見直しの余地あり	

③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

		今後の改革改善案
☐ 拡充	☑ 現状維持	工事に合わせ、公民館業務を維持できるよう奥津地域公民館及び奥津振興センターと協力、連携を図る。令和3年度 用地取得既存施設の解体工事 令和3・4年度新築、外構工事に向け事業を行う。
☐ 目的再設定	☐ 改善	
☐ 休止・廃止	☐ 事業完了	

⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題

奥津地域の中核施設として、羽出公民館、奥津公民館及び奥津振興センターとの協力・連携体制を構築する。

④担当課としての事業の方針

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	／
	低下		／	／

(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)